

記録映画

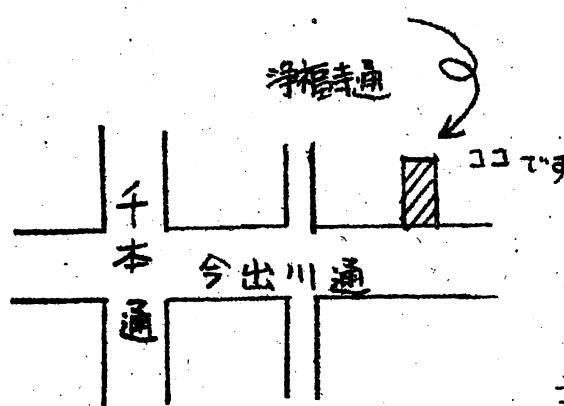
語られなかつた戦争侵略

■ 上映日時

7月6日午後6時30分開場

■ 会場

西陣 労働セツルメント
上京已今出川通津福寺東入スグ



主催: 映画『侵略』の上映をすすめる会 (TEL [REDACTED])

自衛隊が誕生してこの七月一日で三十一年になりました。この間に発足した三千五百四十四年です。たゞ「防衛費」は二十九億以上にふくれあがって、最新鋭のF-15やF-4なども装備した世界有数の軍隊になりました。

そして中曾根政権のもとで、チカイリシーレーン防衛、「や、海空封鎖」あるいは「総戦能力の向上」や「有事即応体制」が叫ばれ、とりどりの「軍艦」に指揮がかかるつてります。

この映画は、一九三七年七月七日満洲橋に始った日本帝国主義の中国本土への全面侵略の過程とその泥沼化の中で行なわれた南京大虐殺、三光政策等の罪実を構成したものです。再び軍事大国の道を歩もうとしている現在「侵略」を過去のものにしてではなく、二度と現実のものとしていため、一人で多くの結集で上映運動を成功させました。